

# 令和7年度学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 東京都立大江戸高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 事務局（3名）事務長（副校長）、教務主任（主幹教諭）、総務主任（主任教諭）
- (3) 内部委員の構成（9名）校長、副校長（3名）、経営企画室長、教務主任（主幹教諭）、生活指導主任（主幹教諭）、進路指導主任（主幹教諭）、総務主任（主任教諭）
- (4) 協議委員の構成（9名）  
学識経験者（大学教授）、江東区教育委員会、深川警察署生活安全課、千石2・3丁目町会会長、江東区立川南小学校長、江東区立深川第四中学校長、都立江東特別支援学校長、江東区教育センターブリッジスクール指導員、本校教育振興会役員 ※教育振興会は、PTAに近い機能のある会

## 2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容

第1回 令和7年6月27日（金）開催 内部委員7名、協議委員5名

協議委員・評価委員委嘱状交付、委員紹介

大江戸高等学校グランドデザイン、令和6年度学校経営報告、令和7年度学校経営計画

大江戸高等学校管理運営規定、学校運営連絡協議会設置要綱、令和6年度学運協実施報告

本校の現状と課題についての説明及び意見交換

学校サポートチーム会議

いじめ防止基本方針

第2回 令和7年11月28日（金）開催 内部委員8名、協議委員8名

令和7年度学校評価アンケートについて

本校の現状と課題についての説明及び意見交換

学校サポートチーム会議

第3回 令和8年2月14日（金）開催 内部委員7名、協議委員4名

令和7年度学校評価アンケート報告

本校の現状と課題についての説明及び意見交換

学校サポートチーム会議

- (2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容

第1回 令和7年11月22日（金） 内部委員3名、評価委員2名

学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の観点・項目・内容・実施時期の検討

第2回 令和7年2月14日（金） 内部委員3名、評価委員1名

アンケート集計結果の分析・考察・課題の整理、評価報告書（原案）の確認

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点 「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

調査実施期間：令和7年12月8日から令和7年12月25日まで

対象	令和6年度	令和7年度
生徒	Forms：116名	Forms：339名
保護者	Forms：105名	Forms：241名

教職員	Forms : 16名	Forms : 35名
学校運営協議会委員	紙 : 7名	紙 : 6名
地域	紙 : 25名	紙 : 23名

(3) 主な評価項目

- ・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備等、校則の見直しについて（今年度より新設）

(4) 評価結果の概要

- ・生徒、保護者、教職員の回答方法について、昨年度から Forms による回答に変更した。今年度は、回答率が増加している。
- ・保護者に関して、全体的には肯定的な回答が多いものの、「部活動や生徒会」、「防災」、「いじめ未然防止」、「体罰、暴言をなくす取組み」、「教職員間の連携」に関しては、「情報がなく分からない」という割合が高い。
- ・学校運営連絡協議会委員からは概ね肯定的な意見であった。

(5) 評価結果の分析・考察

- ・新設した校則の見直しに関する自由意見は、多くの回答が出された。校則がある理由や基準について説明を求めている回答もあり、今後の見直しの過程で、教員が生徒に校則の意味を伝えながら、意見を聞き、検討する材料として参考としていく。
- ・保護者、学校運営連絡協議員、地域住民からは、「情報がなく分からない」と回答されている項目もあり、情報発信について、授業公開や保護者会、個人面談、地域との交流など、引き続き検討を図っていく。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

学校の教育課題に対して学期ごと、事案ごとに多面的な助言をいただき課題解決に関して連携を図ることができた。

昨年度から引き続き、学校が発信する情報が十分でないこともあり、学校行事や教育活動の取り組み状況についての周知については強化していきたい。